

第41週の発生動向(2005/10/10~2005/10/16)

1. 警報・注意報は、出されていません。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者届出数が増加傾向にありますので、注意が必要です。

第41週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱															-2
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	8	0.80	2	0.22			5	0.83	4	1.00	21	0.50	14
(62) 感染性胃腸炎	15	1.88	7	0.70	6	0.67	2	0.40	1	0.17	4	1.00	35	0.83	-6
(63) 水痘	10	1.25	6	0.60	7	0.78	8	1.60	4	0.67	1	0.25	36	0.86	-12
(64) 手足口病	7	0.88			5	0.56			3	0.50	1	0.25	16	0.38	-7
(65) 伝染性紅斑	8	1.00	5	0.50	2	0.22			4	0.67	1	0.25	20	0.48	7
(66) 突発性発しん	3	0.38	5	0.50	6	0.67			2	0.33	4	1.00	20	0.48	1
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															-2
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25	7	0.70	1	0.11							10	0.24	2
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.50	3	0.30	7	0.78	14	2.80	3	0.50	2	0.50	33	0.79	3
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	4	2.00			1	0.50							5	0.45	0

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

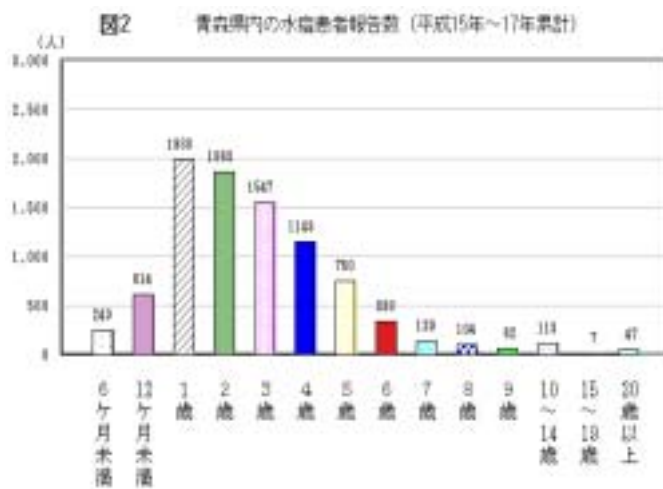
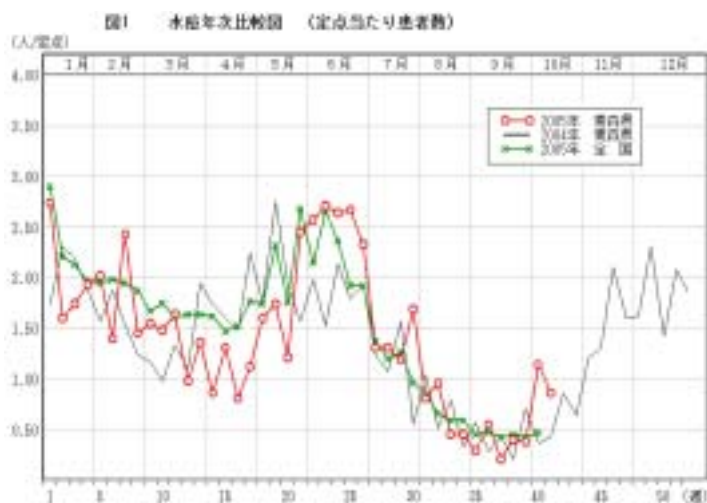
■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 4人 (17年計 118人)

感染症の窓

水痘



水痘は、9月中頃は低く推移していましたが、10月に入って増加傾向にあります(図1)。昨年も10月頃から増加していますので、今後の動向に注意が必要です。

水痘の好発年齢は乳幼児ですが、本県では、1歳児が最も多く、年齢が高くなるにつれて患者数が少なくなる傾向にあります(図2)。

水痘は、飛沫感染あるいは空気感染により感染しますが、発症者との接触感染もあり、ヒトからヒトへ感染します。予防法としては、ワクチン接種が有効です。